

令和7年度小海町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

小海町では、水田面積に占める主食用米面積の割合が約 20%である。また、農家の高齢化及び農家数の減少により耕作放棄地が増加している。規模が小さく条件の悪い耕作地・耕作放棄地の有効活用と新規就農者獲得が課題となっている。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

町で特産品化を進めているそば・大豆の付加価値は高まってきておりブランド化も進み始めている。所得向上に向け更なるブランド化を目指し転作作物として推奨を行う。また、既に地域の主要作物である白菜の作付けを推奨することで転作作物の規模拡大を図る。水稻に関しては年々離農する農家が増加しているため、これ以上耕作放棄地が増加しないよう水稻の継続及び、高収益作物の作付けを呼び掛ける。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

町内農地のほとんどが中山間地域に位置しており特に小規模な水田での作付けが放棄されてきている。小規模農地については引き続き、鞍掛豆、そばの作付けを推進する。大規模な優良農地においては大豆⇄水稻等のブロックローテーションの実施を推進し農家の公平性確保と転作作物の生産性向上を目指す。
また、今後、水稻作に活用される見込みのない水田を確認し、該当者には畑地化支援事業の周知を徹底する。畑地化が可能であれば、ほ場の耕作者・所有者に今後の作付意向を確認し、畑地化支援を活用した畑地化を推進する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

前年の需要動向を勘案しつつ、目安値に合わせた米の適正生産を行う。ニーズに対応した業務用米の生産と安定取引の推進を図る。

(2) 備蓄米

取組無し

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

取組無し

イ 米粉用米

取組無し

ウ 新市場開拓用米

取組無し

エ WCS 用稲

取組無し

オ 加工用米

取組無し

(4) 麦、大豆、飼料作物

大豆においては地元特産品として認知され始めている。今後は更なる作付け面積の増加と品質向上を目指し取り組んでいく。汎用収穫機の利用や選別機械の利用を推奨し効率化と品質向上を図り引き続き作付けを推奨する。

(5) そば、なたね

そばにおいては地元特産品小海そばとしてブランド化が進み需要が増加している。今後は更なる作付け面積の増加と品質向上を目指し、汎用収穫機の利用や選別機械の利用を推奨し効率化と品質向上を図り引き続き作付けを推奨する。

(6) 地力増進作物

取組無し

(7) 高収益作物

地域振興作物として水田での白菜、ブロッコリー、レタス等の作物の栽培に対して支援を行うことで水田の有効活用を図っていく。特に、主力品目である白菜については、地域の比較手的涼しい夏の気候を活かした特産品であり、消費者のニーズの高いことから作付面積の維持・拡大を図る。

花き・花木については、こちらも野菜同様、冷涼な気候により、鮮やかで長持ちすると、市場で高い評価を得られるため、生産者の所得向上につなげるために作付面積の維持・拡大を図る。

その他作物について、近年の健康ブームにより県内外から注目されており、農産物加工直売所で販売・加工品として高い需要があるため作付面積の維持・拡大を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等	～	8 産地交付金の活用方法の明細
-----------------------	---	------------------------

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等	当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作	うち 二毛作	うち 二毛作	うち 二毛作
主食用米	20.3		19.8	19.9	
備蓄米					
飼料用米					
米粉用米					
新市場開拓用米					
WCS用稲					
加工用米					
麦					
大豆	0.62		0.4	0.5	
飼料作物					
・子実用とうもろこし					
そば	3.25		0.64	0.7	
なたね					
地力増進作物					
高収益作物	5.23		4.02	4.2	
・野菜	5.23		4.02	4.2	
・花き・花木					
・果樹					
・その他の高収益作物					
その他					
畑地化	2.51		4.05	4.05	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	大豆	大豆・そばの生産性向上 の取組支援	支払い対象面積 (ha)	(令和6年度) 0.62	(令和7年度) 0.5 (令和8年度) 0.7
1	そば	大豆・そばの生産性向上 の取組支援	支払い対象面積 (ha)	(令和6年度) 3.25	(令和7年度) 0.7 (令和8年度) 1.1
2	白菜	特産品生産への助成	支払い対象面積 (ha)	(令和6年度) 0.84	(令和7年度) 0.1 (令和8年度) 0.1
3	野菜・花卉・花木 (別添リスト参照)	地域振興作物への助成	支払い対象面積 (ha)	(令和6年度) 5.23	(令和7年度) 4.2 (令和8年度) 4.5
4	そば	そばの取組（地域の取組 に応じた配分の対象 分）	支払い対象面積 (ha)	(令和6年度) 3.25	(令和7年度) 0.7 (令和8年度) 1.1

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：

協議会名：

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	大豆・そばの生産性向上の取組支援	1	43,000	大豆	対象作物を栽培、販売した場合に作付面積に応じて支援
1	大豆・そばの生産性向上の取組支援	1	41,000	そば	対象作物を栽培、販売した場合に作付面積に応じて支援
2	特産品生産への助成	1	27,000	白菜	対象作物を栽培、販売した場合に作付面積に応じて支援
3	地域振興作物への助成	1	33,000	野菜、花卉、花木(別添リスト参照)	対象作物を栽培、販売した場合に作付面積に応じて支援
4	そばの取組(地域の取組に応じた配分の対象分)	1	20,000	そば	対象作物を栽培、販売した場合に作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

野 菜		花き・花木				雑 穀		その他作物	
野菜	アスパラガス	花き・花木	アジサイ	花き・花木	フリージア	雑穀	アマランサス	大豆以外の豆類	小豆
野菜	ブロッコリー	花き・花木	イチイ	花き・花木	ベビーコーン	雑穀	あわ	大豆以外の豆類	落花生
野菜	加工用トマト	花き・花木	ウメモドキ	花き・花木	ベニバナ	雑穀	きび	大豆以外の豆類	インゲン
野菜	きゅうり	花き・花木	桜	花き・花木	ヘリクリサム	雑穀	ひえ	大豆以外の豆類	エンドウ豆
野菜	トマト	花き・花木	シンフォリカルボス	花き・花木	ヘレニューム	雑穀	はとむぎ	大豆以外の豆類	そらまめ
野菜	なす	花き・花木	スモークツリー	花き・花木	弁慶草			大豆以外の豆類	花豆
野菜	ピーマン	花き・花木	セツカヤナギ	花き・花木	ほうき草			種苗類	花木(種)
野菜	かぼちゃ	花き・花木	ツルウメモドキ	花き・花木	ほおずき			種苗類	キャベツ(種)
野菜	イチゴ	花き・花木	南天	花き・花木	ホトギス			種苗類	山林植栽用(種)
野菜	スイカ	花き・花木	ビブルナム	花き・花木	マトリカリア			種苗類	しそ(種)
野菜	メロン	花き・花木	ヒベリカム	花き・花木	マリーゴールド			種苗類	たまねぎ(種)
野菜	キャベツ	花き・花木	ボケ	花き・花木	ミシマサイコ			種苗類	トマト(種)
野菜	はくさい	花き・花木	紫式部	花き・花木	メジューム			種苗類	バラ(種)
野菜	ほうれんそう	花き・花木	ユーカリ	花き・花木	モルセラ			種苗類	りんご(種)
野菜	ねぎ	花き・花木	レンギョウ	花き・花木	矢車草				
野菜	たまねぎ	花き・花木	アザミ	花き・花木	ユリ				
野菜	レタス	花き・花木	アスター	花き・花木	ラークスパー				
野菜	だいこん	花き・花木	アーティチョーク	花き・花木	ラベンダー				
野菜	にんじん	花き・花木	アネモネ	花き・花木	ラナンキュラス				
野菜	さといも	花き・花木	アリウム	花き・花木	リアトリス				
野菜	れんこん	花き・花木	アルストロメリア	花き・花木	リオン				
野菜	しょうが	花き・花木	アヤメ	花き・花木	リンドウ				
野菜	じゃがいも	花き・花木	イブニングスター	花き・花木	ルドベキア				
野菜	エンダイブ	花き・花木	エキナセア	花き・花木	ルビナス				
野菜	カリフラワー	花き・花木	エキノプス	花き・花木	レースフラワー				
野菜	ケール	花き・花木	エリンジューム	花き・花木	ワレモコウ				
野菜	小松菜	花き・花木	オダマキ	花き・花木	はす				
野菜	山東菜	花き・花木	オーニソガラム	花き・花木	葉の花				
野菜	春菊	花き・花木	おみなえし	花き・花木	ラン				
野菜	セルリー	花き・花木	貝細工	花き・花木	アングロニア				
野菜	タアサイ	花き・花木	カキツバタ	花き・花木	トレニア				
野菜	チンゲンサイ	花き・花木	かすみ草	花き・花木	ネメシア				
野菜	つけ菜類	花き・花木	カーネーション	花き・花木	パンジー				
野菜	野沢菜	花き・花木	ケイカ	花き・花木	ペチュニア				
野菜	パセリ	花き・花木	カラー	花き・花木	つつじ				
野菜	みずな	花き・花木	観賞用唐辛子	花き・花木	つばき				
野菜	モロヘイヤ	花き・花木	カンパニュラ	花き・花木	その他花き・花木				
野菜	オクラ	花き・花木	キキョウ						
野菜	金糸瓜	花き・花木	キク						
野菜	ゴーヤ	花き・花木	金魚草						
野菜	白ウリ	花き・花木	クジャクソウ						
野菜	スイートコーン	花き・花木	グラジオラス						
野菜	ズッキーニ	花き・花木	クリスマスローズ						
野菜	トウガン	花き・花木	ケイトウ						
野菜	ホシウリ	花き・花木	コスモス						
野菜	ゆうがお	花き・花木	ササリンドウ						
野菜	かぶ	花き・花木	サマーチェリー						
野菜	菊芋	花き・花木	サンダーソニア						
野菜	ごぼう	花き・花木	シクラメン						
野菜	さつまいも	花き・花木	ジギタリス						
野菜	とうのいも	花き・花木	秋明菊						
野菜	ながいも	花き・花木	女郎花						
野菜	みょうが	花き・花木	スイセン						
野菜	やまいも	花き・花木	スイートピー						
野菜	ヤーコン	花き・花木	スカビオサ						
野菜	かんしょ	花き・花木	スターチス						
野菜	やまごぼう	花き・花木	ストック						
野菜	ささげ	花き・花木	スモークグラス						
野菜	青さやいんげん	花き・花木	セロシヤ						
野菜	ししとう	花き・花木	千日紅						
野菜	しそ	花き・花木	ソリダコ						
野菜	セリ	花き・花木	ソリダスター						
野菜	とうがらし	花き・花木	ダイアンサス						
野菜	にら	花き・花木	ダリア						
野菜	えだまめ	花き・花木	チーゼル						
野菜	らっきょう	花き・花木	チューリップ						
野菜	にんにく	花き・花木	デルフィニウム						
野菜(ハーブ類)	ハーブ類	花き・花木	トルコギキョウ						
野菜(山菜類)	うど	花き・花木	ナデシコ						
野菜(山菜類)	行者ニンニク	花き・花木	バラ						
野菜(山菜類)	ふき	花き・花木	ひまわり						
野菜(山菜類)	ワラビ	花き・花木	姫ひまわり						
野菜(山菜類)	ウドブキ	花き・花木	ヒメユリ						
野菜(山菜類)	コゴミ	花き・花木	日扇						
野菜	ルバーブ	花き・花木	風船とうわた						
野菜	おかひじき	花き・花木	フサスグリ						
野菜	青とうがらし	花き・花木	フブレウラム						
野菜	未成熟とうもろこし								
野菜	その他野菜								